



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

# 学園通信

◆2024年(令和6年)2月21日発行 ◆Vol.76

故きを温ねて、新しきを知る 《帯広葵学園のあしあと》76

シンボルマークのじゆん

— 柳町認定こども園 — 学校法人帯広葵学園 理事長 上野敏郎

帯広葵学園が音更町から委託を受け「柳町保育園」業務を開始したのは2019(平成31)年4月1日である。5年前だ。

学園と音更町との関わりは現在の緑陽台認定こども園が最初である。つまり、2015(平成27)年からとなる。この緑陽台保育園の運営を評価していただいたことが、柳町保育園との関りにつながっていると考え音更町には感謝の念を忘れたことはない。ありがたいと思っているのだ。今後、この気持ちに変わりはない。

さて、その柳町保育園は2022(令和4)年からは「幼保連携型認定こども園」として運営している。柳町保育園は、1975(昭和50)年に認可された町立の保育園で、定員は140名だった。現在は、先に述べたように認定こども園である。定員は110名、実園児数は102〜133名である。

ちなみに、音更町の出生数の推移を見ると、近年は250人台前半をキープしているが、10年前の2014(平成26)年は373人であった。この減少数120人は、一つの保育園の園児数に匹敵するものだ。この一点を見るだけでも、これからの幼児教育・保育の仕事は一人ひとりの子どもの成長に貢献するものであることは当然だが、現実の止まらない少子化にもしっかりと目を向けたものでなくてはならないと関係者は肝に銘じなくてはならないのである。

その上で、柳町こども園も、子どもたちが、「音更川の清流に流れる柳の葉に乗っている子どもの姿が示すように、自然を大切にしながら心豊かに育つ」ように心がけていきたい。その誓いがこのシンボルマークには込められている。

幼保連携型認定こども園

## 柳町認定こども園

【シンボルマーク考案者】

奥野 淳一氏

1948年帯広市生まれ。帯広三条高、道教育大釧路校卒。十勝管内の小・中学校で勤務し、帯広第一中学校長で定年退職。つつじが丘幼稚園園長や市教委「心の教室」相談員を経て、2017年8月から帯広北高校を運営する帯広渡辺学園の理事を務めている。



Aoi 学校法人 帯広葵学園

〒080-0022  
帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F  
TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778  
URL <https://www.obihiraaoi.ed.jp/>

